記者発表資料

平成２６年１１月２０日
秋田河川国道事務所
湯沢河川国道事務所
能代河川国道事務所

冬タイヤの装着率調査を実施しました。

～調査地点平均装着率は９４．３%。早めのタイヤ交換を～

【調査日：平成２６年１１月１７日（第３回目）】

初冬期においては、夏タイヤ使用によるスリップ事故や、過度に用心したノロノロ運転による渋滞に加え、それら車輌の追い越しなどにより発生する交通事故の危険性が非常に高くなる時期です。

その対策として、１１月を「冬タイヤ装着月間」として装着運動を行っています。また運動の一環として、平成２３年度から１１月の毎週初めに「冬タイヤ装着率」※1を調査し、結果を広くお知らせすることで冬タイヤの早期装着を啓発しています。

今週１１月１７日（月）に秋田県内の直轄国道峠部付近３地点において冬タイヤ装着率を調査しましたので、その結果をお知らせします。

※１．本調査の「冬タイヤ装着」とは、全車輪に滑り止めの性能を有するタイヤ又は鎖を取り付ける等、滑り止めの措置を講じている車輌としており、「冬タイヤ装着率」とは、冬タイヤ等を装着している車輌を全調査車輌で除法算出しています。

■今後の調査予定日：１１月25日（火）
※調査日は天候等の理由により、予告なしに変更することがあります。

■調査地点：
〇秋田河川国道事務所管内【R46「仙岩峠」仙北市田沢湖生保内地内（野中交差点）】
〇湯沢河川国道事務所管内【R13「雄勝峠」湯沢市横堀字六郎川原地内（新万石橋交差点）】
〇能代河川国道事務所管内【R７「矢立峠」大館市白沢地内（白沢交差点）】
※各調査地点において合計で１００台程度を調査しています。

■冬タイヤ装着率（別添参照）（調査台数３００台）
〇調査地点平均装着率　９４．３%　（前週比　４２．６%の増）
- 「仙岩峠」１００．０%　（前週比　５１．０%の増）
- 「雄勝峠」１００．０%　（　〃　　２１．０%の増）
- 「矢立峠」　８３．０%　（　〃　　５６．０%の増）

【発表記者会】
秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲支局・湯沢支局、秋田建設工業新聞社、秋田民報、建設新聞社秋田支局、秋田県南日々新聞、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

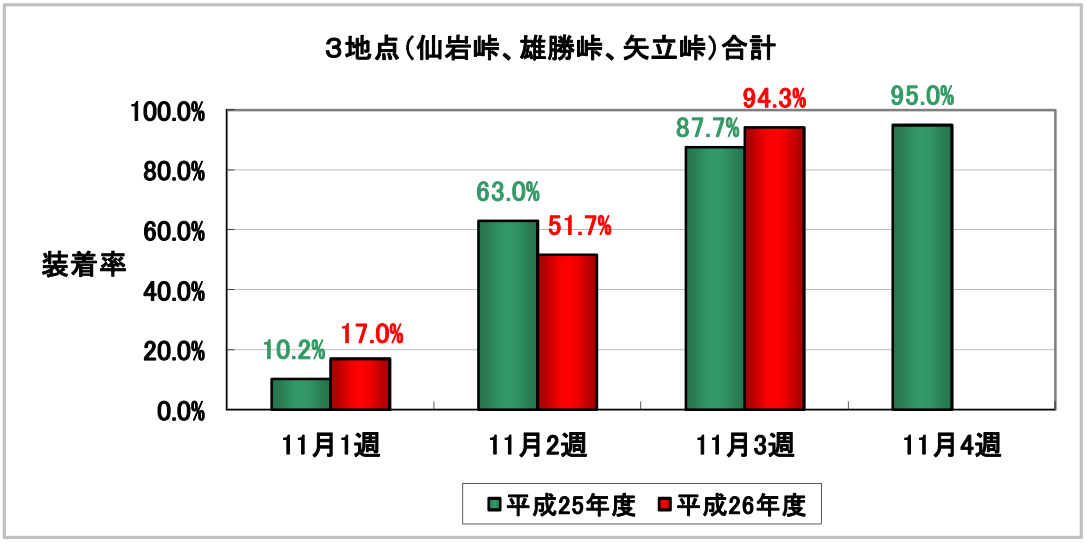
【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局
秋田河川国道事務所　電話　０１８－８２３－４１６７（代表）
道路管理第一課長　加藤（かとう）　誠（まこと）　（内線４３１）
湯沢河川国道事務所　電話　０１８３－７３－３１７４（代表）
道路管理課長　鈴木（すずき）　恵吉（けいきち）（内線４３１）
能代河川国道事務所　電話　０１８５－７０－１００１（代表）
道路管理課長　佐々木（ささき）　博臣（ひろおみ）（内線４３１）

別添

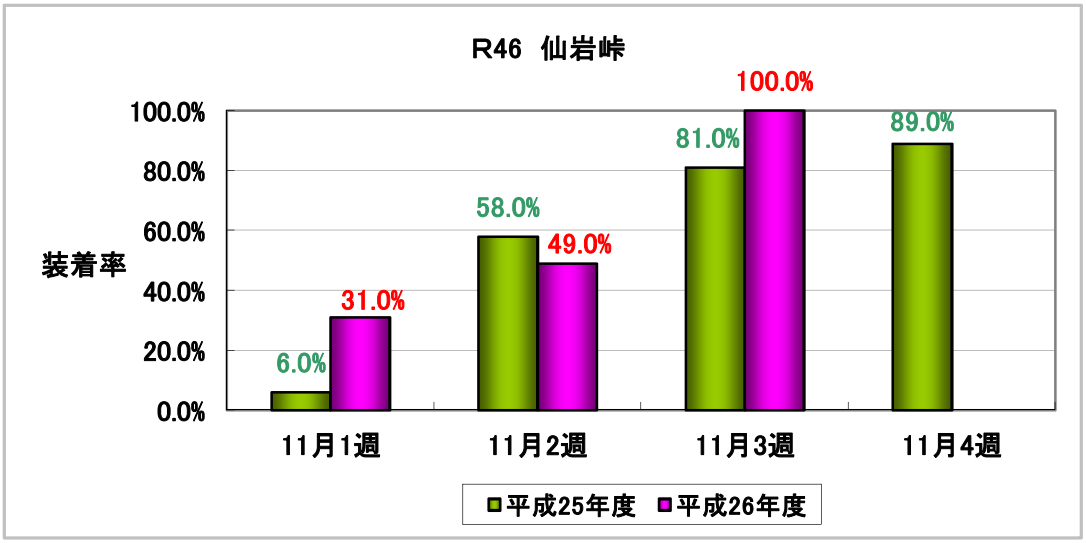
【冬タイヤ装着率（平成25年度、平成26年度の比較）】 No.1

●今年度は、11月13日に秋田市で初雪を観測。（平年と同じく、昨年度より2日遅い）

【3地点　合計】



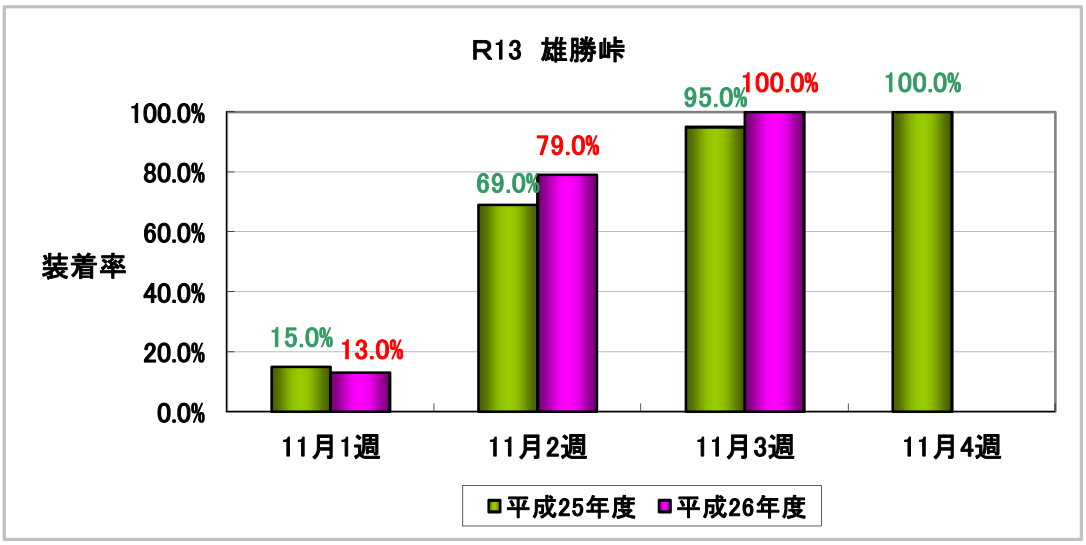
【R46　仙岩峠】



別添

【冬タイヤ装着率（平成25年度、平成26年度の比較）】 No.2

【R13　雄勝峠】



【R7　矢立峠】

